

日日新

旬日新、日日新、
又日新

南アルプス市立小中一貫校八田小中学校
南アルプス市立八田中学校

八田中学校通信

文責・発行 神宮司 剛

令和7年度

6月30日

第3号

生徒会総会に見る 八田中学校の未来



5月末に開催された生徒会総会では、全校生徒による真摯で活発な議論が繰り広げられました。「ハイタッチあいさつ運動」や「無言清掃」について、多角的な視点から意見が交わされ、生徒たちの成長や学校づくりへの思いが随所に感じられました。

中でも印象的だったのは、賛否を超えて互いの考えを尊重し合う対話の姿勢です。生徒たちは、提案の目的や期待される効果を深く掘り下げ、「なぜそう思うのか」と互いに問いかけながら、より良い学校を目指して意見を交わしていました。こうしたやり取りの中で、「批判的思考力」や「多様な価値観の尊重」といった、子供たちが生きるこれからの社会に必要な力が自然と育まれていることを感じます。

挨拶を活性化するために、ハイタッチ挨拶運動をしていこうといった提案では、「ハイタッチが苦手な人もいるかもしれない」という配慮の声が上がるなど、他者への共感や思いやりの心が、学校全体に広がり始めていることも印象的でした。生徒たち自身が安心できる環境をつくろうとする姿勢に、本校の温かく包摂的な校風がよく表れていました。

本校では「一人一人のウェルビーイングの実現」を教育理念に掲げています。今回の生徒会総会は、その理念が生徒たちの日常の中に根づきつつあることを示す、たいへん意義深い機会となりました。

今後も、こうした生徒たちの主体的な学びを大切に育ててまいります。引き続き、保護者・地域の皆様と共に、より良い学校づくりを進めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

心ひとつに、いざ総合体育大会へ



6月、本校の運動部が県総合体育大会への出場を目指し、中巨摩地区の各種大会に挑みました。これに先立ち、生徒会主催の壮行会が行われ、全校生徒が心をひとつにして選手たちを送り出しました。代表・清水奏輔さんの宣誓からは練習の成果を発揮し、必ず勝利を掴むという力強い決意が伝わってきました。吹奏楽部の演奏や1・2年生を中心とした声援も加わって、温かく前向きな雰囲気に包まれました。競技に挑む生徒を応援するこの姿勢は、八田中学校が大切にしている「他者を思いやり、互いを支え合う文化」を体現するものです。競技の場に立つ生徒だけではなく、仲間の頑張りを応援する声援や、会場に響いた吹奏楽部の演奏にも、皆がこの学校を支えているという温かさを感じました。

勝負の世界は常に厳しく、本校に限らず、日々の努力を懸けて大会に挑んだすべての生徒に拍手を送りたいと思います。県大会に進んだ生徒も、惜しくも敗れた生徒も、その過程で得たものは何より価値ある経験です。私も校長として、できる限り会場に足を運び、勝利に沸く姿、悔しさを噛み締める姿に触れながら、「一人ひとりが真剣に挑戦している」ことの尊さを改めて実感しました。

勝負には勝者と敗者がいます。だからこそ、どのように挑み、どのように結果を受け止めるか。その姿勢こそが人を育てると私は信じています。そして、こうした経験は、部活動という枠を越えても、生徒たちが将来、自分らしく社会で生き抜くための礎となっていくはずです。これからも、すべての生徒の挑戦を大切にしながら、一人一人の可能性を引き出す教育を進めてまいります。どうぞ今後とも、温かなご支援をよろしくお願いいたします。下記の左側が今回の予選突破、右側が予選なしの県大会出場です。

女子テニス部 個人2組、団体

男子テニス部 個人2組 団体

野球合同チーム (八田、御勅使、玉幡)

県総合体育大会 左記以外にサッカー部、陸上部、新体操部、剣道部、水泳部、柔道部が出場します。日頃の練習の成果を十分に発揮してほしいです。